

「高根沢町地域経営計画 2026（素案）」町民懇談会の結果について

1. 結果

○開催日時及び参加人数

開催日時等	会 場	参加人数
8月3日（日） 14:00～	高根沢町役場 第3庁舎大会議室	2
8月6日（水） 19:00～		4

計 6人

○町出席者：町長・副町長・教育長・課長等・事務局

2. 主な発言内容と町からの回答（※発言要旨）

【1】

【主な発言内容】

●現計画での効果・課題等を分析し、いいところは継続、悪いところはカットし、新町長の考えを明確にうたう等、メリハリのある表現にした方がよいのでは。

【町からの回答】

●7月に有識者の外部会議である総合戦略会議にて現計画の効果検証を実施し、課題等ご意見をいただきましたので、そういった反省を生かしつつ、この素案の課題と現状があります。わかりやすく書くという部分については課題として受け止めさせていただきます。

【2】

【主な発言内容】

●行政組織について、縦割りの悪さがどれくらいあるか分からないが、もっとスピーディーにできる仕組みづくりができないか。

【町からの回答】

●新庁舎では現在の出先機関が一緒になるので、課の連携、情報交換の風通しの良さについては、ハード的に役場の体制が変わっていくところがあると思います。そういった機会を契機としながら、縦割りをなるべくなくして取り組んでいくような方法を模索していけたらと考えております。

【3】

【主な発言内容】

●農業分野で6次産業化という言葉があるが、町は農業が盛んであることから、農産物から6次産業化というのが地域経営計画2016でも書かれている。実際に2016で、6次産業化でどんなものができたのか、また、今後どういう形で6次産業化をしようとしているのかを伺いたい。

【町からの回答】

●農産物の利用拡大を図るため、農産物を活用した加工品の開発、ブランド認定を行ってきました。現在、商工会女性部、農業団体の女性の方が枠を越えて商品開発を始めようとしているところで、商品を作って売り出すところまでこの5年の間に進めていきたいと考えています。

【4】

【主な発言内容】

●高根沢高校を存続させるために、どうすべきかというのを町から県に提案したらどうか。例えば、人気がある白楊高校には農業経営課があるので、高根沢高校も町の農業と連携し、農業系の科を設立するといったことを県に提案してみてはどうか。また、烏山線は何とかその観光資源として上手く使えばまだまだ活性化する余地はあると思うので、具体的中身について計画に記載すべきではないか。

【町からの回答】

●JR 烏山線は赤字路線であり、町として存続に向けて支援していきたいと考えています。高根沢高校についても当然存続していただきたいので、栃木県の政策ではありますが、町としてしっかり検討していきます。

【5】

【主な発言内容】

●町の下水道普及率は高い方で、土地の値段にも反映されていると考える。下水道の普及率についてもっと PR すべきでは。

【町からの回答】

●下水道については、一部の都市計画道路や私道を除き、市街化区域については令和7年度に整備が完了します。町のホームページに普及率等は掲載していますが、さらなる周知については考えてまいります。

【6】

【主な発言内容】

●交付税措置のある地方債を優先的に発行しますということが書いてある。町の地方債は110億円という認識でいるが、減らしていくのか、増やしていくのか。

【町からの回答】

●町の地方債は減少している状況ですが、これから新庁舎整備、その他の大きな事業があるときに、地方債が増えていく予想は立っています。借りっぱなしではなく、交付税として戻ってくる有利な地方債があるので、そういったものを見つけて活用していくという趣旨になります。

【7】

【主な発言内容】

●町民に行政に興味を持ってもらうため、広報たかねざわに3か月または4か月に1回、計画の進捗状況を載せるべきでは。計画の進捗状況を町民が知ること、町民が行政に興味を持ってくれたり、アドバイスをしてくれたり、あるいは町民に協力をしてもらうときに協力してくれやすいと思う。

【町からの回答】

●ホームページ、SNS、様々な手法で情報発信していますが、広報紙には紙媒体ならではの役割があり、どちらかというとイベントごとの告知がボリュームを占めています。予算や政策といった記事を定期的に出すといったことについては検討させていただきます。

【8】

【主な発言内容】

●現計画の2016では「くらし高まるたかねざわ」というワンフレーズを第一に掲げていたが、2026はワンフレーズで「日本一元気なまち高根沢」を提案する。その背景としては婚姻率、出生率、健康年齢が県でもトップクラスという認識があり、元気があることの裏付けデータが揃っていると考える。

【町からの回答】

●今回「未来への安心と希望に満ちたまち」をこの町の大きなフレーズとさせていただいたところです。いろいろと参考になるご意見をいただきましたので、そこを受け止めながら今後のまちづくりの施策に反映させていただきます。

【9】

【主な発言内容】

●町は東北線、烏山線に加えてLRTが南側を走っており、自然が多く災害が少ない。また、東西南北に10校超の高校に通えるなど恵まれた場所にある。計画では、将来推計人口について27,500人としているが、30,000人位の目標でやってはどうか。

【町からの回答】

●町の人口もこのままでいくと26,000人台になってしまうところ、地域経営計画2026を着実に進めていくことによって、その減少幅を低く抑えるという趣旨で2万7500人と設定しています。

【10】

【主な発言内容】

●人を呼ぶにはイベントではなく食べ物である。先ほど女性部の話が出たが、例えば農家からB級の野菜を集めて山盛りの惣菜を500円で販売するのはどうか。

【町からの回答】

●参考にさせていただいて、女性部の皆さんに提案させていただきたいと考えております。

【11】

【主な発言内容】

●新しい庁舎が数年後完成する。先人の先輩に対して大変申し訳ないが、高根沢町という名前もいいが、若い子供たちがやってくるような町名を考えた方がいいのでは。

【町からの回答】

●町名については歴史があるものなので、このままでいきたいと考えております。

【12】

【主な発言内容】

●計画を作った段階で、前計画がどういう状況だったのか、結果を踏まえた上で説明して貰いたい。

【町からの回答】

●前の計画の検証、数値の進捗や、今の計画への繋がりなどについては、広報とホームページを併用してお知らせするように準備してまいります。

【13】

【主な発言内容】

●次期道路整備計画について明示して欲しい。また、宝積寺北区の道路が狭いので、道路を拡幅して欲しい。

【町からの回答】

●道路網整備計画の中では、10年位で整備をしていく短期路線として、北区ではなく宝積寺駅の西の地域を予定しています。そのため、壊れている道路については、維持管理の中で修繕等行って対応させていただいております。また、北区の道路は広げようにも住宅があり広げられないといった事情がありますので、ご理解いただきたいと思います。

【14】

【主な発言内容】

●宝積寺北区では、雨が降ったときに道路の排水ができていないため、歩けないときがあるので対処してほしい。

【町からの回答】

●大雨が降ったときに重点的に確認させていただきます。

【15】**【主な発言内容】**

- 参加者が少ないが町民懇談会についてどういう周知をしているのか。

【町からの回答】

- 町のホームページ、広報たかねざわで周知しています。

【16】**【主な発言内容】**

- 元気あつぷむらは立地条件が悪いため、入浴料を無料にするなどの思い切った手を打たないと集客はないと思う。予算的な関係で難しいとは思いますが、例えば、町民の入浴料を 100 円、200 円にするなど、手法を検討してほしい。

【町からの回答】

- 大きな何か改善等をしていかないと成果を上げることが難しいというのはご指摘の通りだと思いますので、私達の方でもさらに勉強をしていきながら、よりよい施設の運営に向けた改善に取り組んでいきます。

【17】**【主な発言内容】**

- 町の自治会加入率は県内で下位となっている、栃木市は 80%位あり高い状況にあるため、職員を研修に派遣して勉強してもらってはどうか。

【町からの回答】

- 自治会の加入率の低下につきましては、県内の全市町の方でどうしても下げ止まりが止まらないというような状況にあります。自治会に対する支援としては財政的なもの、運営的なものなど様々な支援を行っていますが、自治会の皆様が運営しやすいような環境を整えていくにはこういったものがあるのかということについては研究を続けなければいけないと思っております。

【18】**【主な発言内容】**

●町は災害が少ない所で皆さん危機感が少ないが、何かあった時のために周りの人たちとの繋がりを大事にしていけないといけない。一人ひとりでは何もできないので、その辺のところを町でも強く訴えてほしい。

【町からの回答】

●災害時の地域の繋がりとといったところは町でも危機感をもっており、そういったアナウンスは町からも自治会の皆様の方にした上で、自治会に入られていない方へどう伝えたらいいのかということの一つ課題と思っている。どういった活動をする、災害時の顔が見える関係に繋がるのかということについては引き続き考えていきたいと思っています。

【19】**【主な発言内容】**

●子どもが育って出ていくと町には働く場所がないため、Uターンを希望しても戻れない。人口を増やすには働く場所、働ける環境の整備が必要だと思う。

【町からの回答】

●働く場所、働ける環境の整備の必要性は認識しており、産業が育ってくることによる税金、地域の経済の活性化についても期待していますので、全部一気に整備はできませんが、取り組んでいきたいと考えています。

【20】**【主な発言内容】**

●アパートの住人かと思うが、ごみステーションに粗大ゴミを捨ててあった。町で処理したと思うが、税金をかけていることになるので、どのように対処したらいいのか検討してほしい。

【町からの回答】

●そういった事案があったら町に連絡をいただければと思います。ゴミ出しのルールについては転入時に町から、また、アパートの管理会社等にも入居者に説明をお願いしており、更なる周知の徹底をしていきたいと思っています。